

令和7年

安平町議会議長

多田 政拓



町民の皆様には希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

年頭にあたりまして安平町議会を代表いたしまして謹んでご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、日頃から町議会に対しまして、深いご理解と格別のご支援ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元日に発生した「能登半島地震」、翌日の羽田空港で発生した旅客機の衝突炎上事故や北九州市小倉北区の大規模火災など衝撃的な出来事として新年がスタートし、その後も各地で発生する豪雨災害、止まらない物価の高騰、

そして平成5年以來の米不足や鳥インフルエンザによる卵不足など例年に比べて暗い話題が多かった1年であったと感じております。

10月には衆議院議員総選挙が行われ、政治資金問題に端を発した自民党への支持率の低迷から政権を担ってきた政党が過半数を割る大変厳しい結果となりました。

国民は物価高騰に苦しむ中、政治家は正規の手続きを踏まずに大金を手に入れた事実が明るみに出た結果、国民の怒りを買ったことは明らかでありました。

一方、私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症は落ち着き、これまで抑えられていた人の動きは活性化し、観光地や商業地は以前にも増して賑わい活気が戻っております。

町内におきましても、追分地区では菓子店やうどん店が新たに開店したり、「菜の花のイベント」や「あびら夏！うまかまつり」がコロナ禍前と変わらず開催され、町内外から多くの方々にお越しをいただき大変賑わっております。

た。

そして、ワイナリーの地鎮祭が行われるなど今後の賑わいについても期待がされるところであります。

また、早来地区では多くの方が待ち望んでいたハイヤーの運行が6月から再開されたとともに、「平成30年胆振東部地震」の最後の復興事業となる町民センターの改修事業については、体育館や合宿所、災害時には避難所となる防災支援施設として3月の完成が待たれるところであります。

さて、令和7年の干支は乙巳（きのとみ）で「努力を重ね物事を安定させていく」「これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆している」と言われています。

少子高齢化対策、地域公共交通の運営、労働力確保などさまざまな課題が山積しておりますが、私たち議員は、町民の皆様が安全安心に、そして幸せを感じられるような暮らしの実現に向け、一丸となつて残された任期を全うして参る所存でありますので、今後とも一層のご指導とご支援を

賜りますよう心からお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、健やかで希望に満ち、幸多き1年となりますよう心から祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



- 〃 横澤 和子
- 〃 梅田 鋭敏
- 〃 鍋野 高志
- 〃 宮内 康博
- 〃 岩倉 啓一
- 〃 武田 信一
- 〃 池田 直樹
- 〃 阿部 修一
- 〃 秋田 実

安平町教育委員会
委員長 井内 聖
委員 佐々木 望

- 〃 守屋 竜起
- 〃 廣川 由香里

喪中により新年のご挨拶を控えさせていただきます。

安平町農業委員会
委員 南 美彦
安平町教育委員会
委員 山根 弘文